

燃えるごみを処理するしくみ



みなさんのうちから
集められたごみは
このセンターでまとめて
処理しているのよ。

①ごみ計量機
しゅう集車で運ば
れてきたごみの量
を計ります。

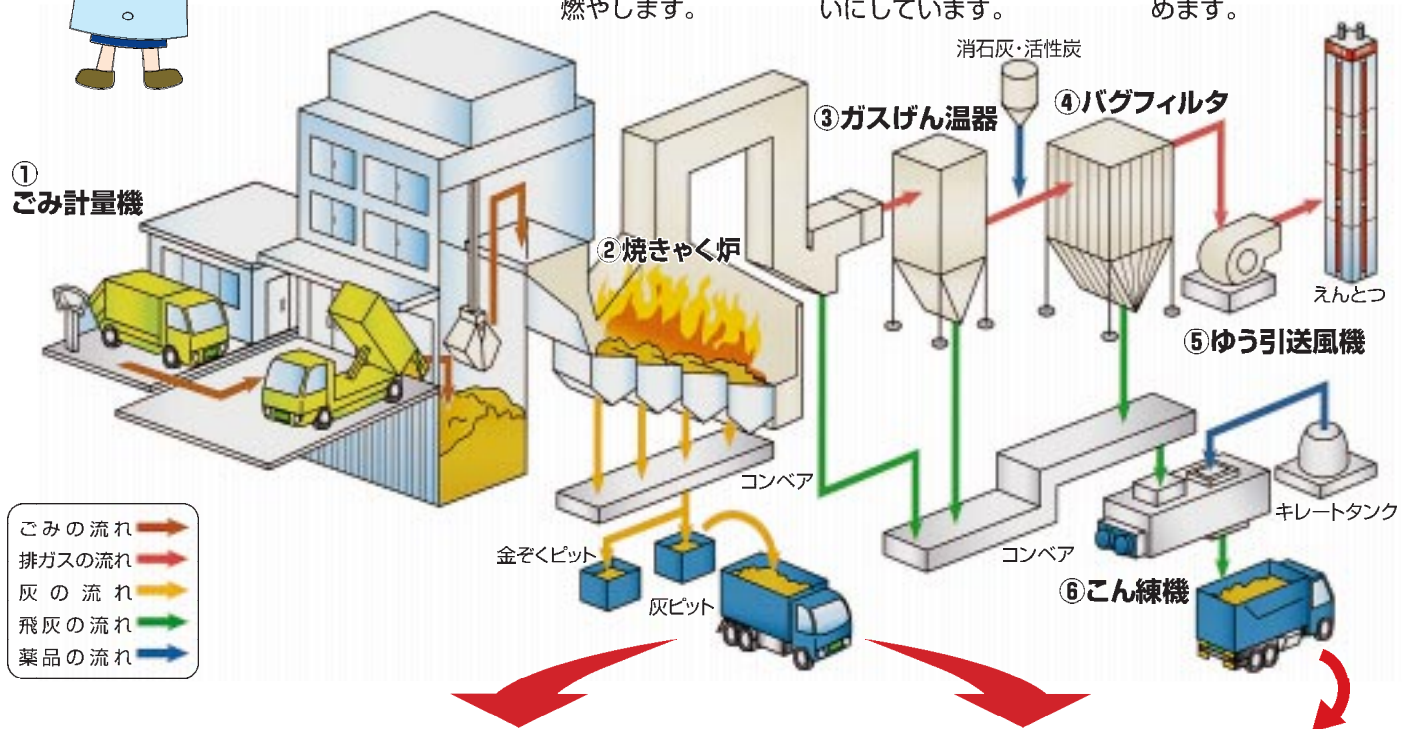
②焼きやく炉
ごみを800℃～
950℃の高温で
燃やします。

③ガスげん温器
バグフィルタに流れる排
ガスの温度を200℃以下
に冷やします。

④バグフィルタ
フィルターで排ガスの中の
飛灰を取って排ガスをきれ
いにしています。

⑤ゆう引送風機
きれいになった排ガス
はゆう引送風機によっ
てえんとつから出てい
きます。

⑥こん練機
集められた飛灰に水と
薬品をまぜ合わせて固
めます。



◆路盤材などの原料
小山市



◆埋め立て処分
福島県小野町



塩谷広域環境衛生センターは一般廃棄物中間処理施設

上図でも示しましたとおり、塩谷広域環境衛生センターは一般廃棄物の「中間処理施設」です。

施設へ搬入されてくる可燃ごみの中からは、最終処分しなければならない焼却が発生する「焼却灰」や焼却から発生する排ガスからの「飛灰」があります。塩谷広域圏内では最終処分の処理施設がありませんので、これら最終処分をしなければならない処理残渣を、塩谷広域圏外の民間業者に処理費用を支払い埋め立て処分や路盤材の原料として、最終処分の処理委託をしています。